

「おかえりなさい」
故郷のような
ほっとするひとときを

かんの いちよ
菅野 一代 さん

民宿 唐桑御殿つなかん 女将

昭和38年、岩手県久慈市生まれ。
宮城県気仙沼市唐桑へ嫁ぎ、牡蠣養殖に携わる。被災した家屋を改築し、2012年から唐桑御殿つなかんを経営。

「みんながいつでも帰ってこられるように」という思いが始まりでした。

震災当時1000人以上のボランティアが寝泊まりをする場所として開放したことをきっかけに、誰もがいつでも帰ってこられる場所として民宿を始めました。

多くのハイカーが泊まりに来られますが、海外メディアやYouTubeに取り上げられたことがきっかけで、海外のハイカーも多く来られるようになりました。

言葉は通じなくても、いつもの笑顔でおもてなしすることを大切にしています。

海外のハイカーが泊まりに来られ、一番うれしかったことは、慣れない日本語で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えてくれたことです。

海外のハイカーが泊まりに来て良かったと、もっと思ってもらえるように、現在、受け入れ体制について勉強しています。

最近、みちのく潮風トレイルを歩く国内外のハイカーに、サウナでもリフレッシュしてもらうことを目標にしています。そのために、サウナ小屋「つなかんサウナ」を2023年にオープンしました。

ここに泊まりに来た旅人(ハイカー)の最高の思い出の1ページを提供できるように、これからも笑顔でおもてなしをしていきます。



女将の笑顔と元気、新鮮な海の幸、癒やしのサウナで身も心もエネルギーチャージできます。

